

### 自治医科大学大学院学外講師に就任して

(財)広南会広南病院 脳神経外科部長 清水 宏明

この度は貴大学渡辺英寿先生(脳神経外科)、岩花弘之先生(地域医療学センター)のご高配により、自治医科大学大学院学外講師を拝命いたし大変光栄に存じます。私は東北大学を1986年に卒業し、脳神経外科に加わり、現在は仙台市の南端にあります広南病院にて勤務しております。広南病院は200床あまりの小さな病院で、脳神経外科と神経内科を中心に脳疾患に特化した病院です。血管内脳神経外科や脳血管内科もあり脳神経外科ともども脳血管障害を中心に臨床を行っていますが、良性脳腫瘍、てんかん外科なども活発に行っています。

広南病院は東北大学の分院として開設された経緯があり、当初より診療だけでなく臨床研究にも力を入れてきました。世界的なリーダーシップをとっている脳磁図(MEG)をはじめ磁気共鳴(MR)装置を用いた脳代謝・機能等の研究も行っています。そうした流れのなかで昨年12月に、念願であった3テスラMR装置が導入され、空間解像度が格段に高い画像を得ることができるようになりました。この画像をコンピュータ処理して外科解剖の勉強ができるシステムを構築するという渡辺先生のプロジェクトが今回の学外講師のお話の発端となりました。

最近の医学教育の趨勢として、研究より臨床といった雰囲気がありますが、若い間に一定の時間を研究に費やすことは臨床医にとっても大きな利点があると考えます。物事を順序よくつきつめて考える経験、論理的な思考方法、といったことは臨床より研究において能率的・効果的に身に付くような気がします。そうした素養は質の高い臨床のためにも大変重要ですので、この度の社会人大学院制度は優れた臨床医を育成するために大きな貢献ができると思います。そのための微力にでもなれるように努力したいと思います。

自治医科大学で開発されたDigital Cadaverが世界中で使われるようになる日を期待しています。



#### 【参考】自治医科大学大学院医学研究科学外講師の任用手続・資格基準規程

(目的)

第1条 この規程は、自治医科大学大学院医学研究科学外講師(以下「学外講師」という。)の任用手続、資格基準等について必要な事項を定めるものとする。

(学外講師の業務)

第2条 学外講師は、担当指導教員と協力し、地域医療の現地教育の場において、自治医科大学大学院医学研究科学生の研究指導を担当するものとする。

2 学外講師は、前項のほか、次の業務を担当するものとする。

(1) 自治医科大学大学院医学研究科(以下「大学院医学研究科」という。)が行う地域医療に関する調査研究への参画

(2) 大学院医学研究科の教育研究方法の工夫及び改善に対する助言及び調査

(3) その他自治医科大学大学院医学研究科長(以下「研究科長」という。)が定める業務

(任用手続)

第3条 学外講師に任用しようとする場合、授業科目責任者が自治医科大学大学院医学研究科学外講師任用申請書(別記様式第1号)に、履歴書(別記様式第2号)、業績目録(別記様式第3号)及び推薦書(別記様式第4号)を添えて、研究科長に申請を行う。

2 研究科長は、前条の学外講師任用申請書を受理したときは、自治医科大学大学院医学研究科委員会幹事会に学外講師候補者(以下「候補者」という。)の資格に関して諮問する。

(候補者の資格)

第4条 候補者は、博士の学位を有し、査読を実施している学術誌に原著論文が8篇以上掲載され、かつ、筆頭論文が3篇以上掲載された者でなければならない。

(資格審査)

第5条 候補者の資格審査にあたっては、教員の教育・研究歴、臨床経歴、研究論文等について、当該職にふさわしいものであるかを審査するものとする。

(教育・研究歴の認定)

第6条 学外講師として委嘱された期間は、大学院医学研究科での教育・研究歴として認定するものとする。

(所属)

第7条 学外講師は、任用を申請した授業科目責任者が属する専攻に所属するものとする。

(委嘱期間等)

第8条 委嘱期間は、委嘱された日から当該年度末までとし、1年ごとに更新する。ただし、年度中途において大学院医学研究科の運営上学外講師に委嘱することが必要でなくなった場合等は、その時点で委嘱を解除することができる。

2 学外講師の委嘱を更新するときは、学外講師としての実績等を勘案するものとする。

3 学外講師を委嘱するとき、又は委嘱期間を更新するときは、委嘱状を交付する。

(報酬)

第9条 報酬は支給しない。ただし、本学が行う会議等に出席するための旅費等は支給することができる。

(その他)

第10条 この規程に定めるもののほか、学外講師の任用手続、資格基準等について必要な事項は、研究科長が別に定める。

附 則

この規程は、平成18年9月1日から施行する。

## 自治医科大学医学部卒業生の学位取得状況把握のためのアンケート結果 その1

本年8月から10月末にかけて、本学医学部卒業生を対象に学位取得状況に関する調査を実施いたしました。調査は、本学医学部卒業生のうち2801名に調査票を郵送し、11月2日までに回答が寄せられた1451名分（回答率：52%）について解析を行っております。調査の実施にあたり、多くの皆様にご協力を頂きましたこと御礼申し上げます。

調査では、「博士（医学）」の学位を取得していない方に学位取得の意思を伺ったところ、1期生から29期生の全てにおいて学位取得を希望される卒業生がおられ、総数391名に達しました。しかし、学位取得のための研究に関する質問では、大学院生が34名、研究生が121名となり、学位取得を目指して研究をしている卒業生は、学位取得を希望している卒業生の半数以下という結果となりました。多くの卒業生が、学位取得を希望しているにもかかわらず、研究を開始することもできない状況にあることが伺えます。

また、「博士（医学）」の学位を取得していない方に対して大学院進学を希望を伺ったところ、（1）希望がある 42名、（2）条件が合えば希望がある 175名、（3）興味はある 250名となりました。さらに、本年度から開始された社会人入学枠での大学院進学を希望について伺ったところ、下図に示すように（1）希望がある 17名、（2）条件が合えば希望する 195名、（3）興味はある 325名、となり、社会人入学枠での大学院進学に興味を示した回答が537名という結果となりました。

大学院進学を希望する方は、前号の News Letter Vol.3（自治医科大学地域医療オープン・ラボのホームページで閲覧可能）に従い、大学院進学を準備を進めて頂ければと思います。また、平成19年1月15日（月）に地域医療情報研修センターで進学説明会を開催しますので、出席いただけると本学で行っている研究についての理解が深められると思います。

しかし、大学院進学を希望する卒業生全員がただちに大学院に入学することは物理的に不可能です。そこで、本年9月20日から28日にかけてスウェーデンとイギリスに大学院教育の現状視察を行いましたので、そこで得られたことが参考になるかと思っておりますので、ここで紹介いたします。なお、アンケートでは、この他にも多くの質問をさせていただいておりますが、紙面の都合により、次号以降にて結果をお伝えさせていただきます。

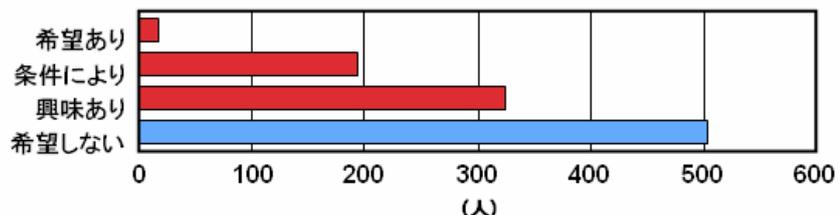
スウェーデンでは、大学院入学前に、約8割の学生が大学院生と同じような研究をスタートさせ、見込みが付いた時点で、正式な大学院生になっています。このような学生は、shadow Ph.D. student と呼ばれ、半年から1年、臨床医の場合などは、長年研究を続け、論文がほぼ出来上がった時点で大学院生となることも行われていました。

本学医学部卒業生で学位取得を希望する方は、大学院に入学するしないにかかわらず、地域における臨床の現場で研究を開始していただきたいと思っております。そして、順次、大学院に入学し、課程博士を取得するか、或いは、所定の医学研究歴を満たし、論文博士として学位を取得するかの選択をして頂ければと思います。

医療現場での研究は、疫学的な研究が多くなるのではないかと予想されますので、本学地域医療学センター（公衆衛生学部門）教授の中村好一先生のご好意により、本年度、医学部で開講した疫学の講義すべてをビデオ収録いたしました。自治医科大学図書館ホームページのビデオオンデマンドのコーナーで、学内者&卒業生の部屋にアクセスすると大学院講義「疫学」として配信されています。閲覧に必要なIDとパスワードは自治医科大学図書館で取得できます。まずは、疫学の勉強から始めるのも一法かと考えます。また、興味のある分野の学会誌などを数年分検索して、地域の医療現場でできるような研究がないか探し、その論文と同じようにして、同じような結果が得られるか、それとも地域特性があるのかなど、行ってみるのも良い勉強になりますし、論文にすることが可能な場合もあるかと思っております。

大学院進学や研究に関するご相談などには、地域医療オープン・ラボが窓口となり、各講座や研究室との仲介をするなど、できる限り対応していきたいと考えております。

### 大学院社会人枠による入学



地域医療学センター（地域医療支援部門） 魅力ある大学院イニシアティブ・コーディネーター専任教授 岩花 弘之

自治医科大学大学院医学研究科

### 地域医療オープン・ラボ運営委員会

事務局 大学事務部学事課 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1  
TEL 0285-58-7044 / FAX 0285-44-3625 / e-mail openlabo@jichi.ac.jp  
<http://www.jichi.ac.jp/graduate/index.htm>